

○遊休農地の発生防止・解消に取り組む

(奈良県・川上村農業委員会)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他(農業
委員会の体
制強化等)

1 地区の特徴・状況、課題

- 奈良県の中東部に位置し、吉野川(紀の川)の源流部に位置する。山林が村の面積の約95%を占める。平成25年に大滝ダムが完成し、下流(都市や平野部)に暮らす人たちの為に、常にきれいな水を流すよう心掛けている。その取り組みは大和平野土地改良区等との連携事業に繋がっている。
- 平坦部が少なく、水田は無い。また、畑のほとんどは急峻な傾斜地で行われており、すべてが自家消費のための栽培である。また、高齢化が急速に進んでおり、遊休農地の増加が懸念される。



2 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化の推進の取組と工夫)

- 農地パトロールの強化や、農業委員同士の情報交換を密にし、農地の状況を情報共有している。
- 農業委員自らが代替作物の試験的な栽培を行っており、遊休農地の有効利用と特産品化を目指している。

3 活動(取組と工夫)の結果

- 農地パトロール、委員同士の情報共有を行うことで、ここ数年は遊休農地は増加していない。
- 代替作物の試験的栽培は継続中であり、今後遊休農地を集約し試験農園として活用する。